2022年度活動概要

オーラル・プレゼンテーション＆パフォーマンス(OPP)研究会

Oral Presentation & Performance (OPP)研究会は昨年度、オンラインでコロナ禍からの復活を遂げた。ただ参加校は３校にとどまり、しかも内２校はビデオ収録したパフォーマンスの披露であり、パフォーマーのオンタイムの参加を得ることはできず、なんとか灯火を維持した感が強いことは否めなかった。

今年度は満を持して対面実施の復活を期し、周到な準備を経て 12 月 18 日に安田女子大学まほろばホールにて５大学の参加を得て開催することができた。山口学芸大学のみ、事情によりオンラインでの参加となったが、昨年も指摘したコロナ禍の皮肉な副産物である配信技術の充実により、会場で披露されたオンラインの映像・音声はいずれもクリアなもので、違和感のないものとなった。また、会場からの映像・音声も山口に配信され、その質も昨年を上回るものとなっていた。パフォーマンス時にはマウスシールドまたはマスク着用を励行し、またイベント後の交流会も簡素なものにするなど、制限は相変わらずありつつも、参加校はそれぞれコロナ前とほぼ同レベルの準備、発表ができていたことは大変喜ばしいことである。

成果物は、年度内に昨年よりグレードアップした映像クオリティの録画を視聴可能に編集することに加えて、報告書を PDF で編纂する予定である。

研究方面では、すでに収集した各メンバーの論考を元に 10 年間の成果を元に学術研究書の出版という形に残すため助成金に応募することを合意したところである。